

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護学方法論 I	単位 (授業時間/時間数)	2 (44/45)
開講年次	1年次	開講時期	通年	授業回数	22回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床 (病院) での看護師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

### 授業のねらい

看護過程は対象にとって必要な援助を見極め、提供するための手段・方法論である。つまり、看護という目的意識を持った実践のプロセスである。対象にとって必要な看護実践に責任がもてる思考過程を育てることをねらいとする。

### 授業目標

1. 看護過程を構成する要素とそのプロセスを理解する。
2. 看護過程を用いることの意義を理解する。
3. 実際の事例をもとに、問題解決過程やクリティカルシンキング、リフレクション、倫理的判断といった看護過程の基盤となる考え方について学ぶ。
4. アセスメント、看護問題の明確化、看護計画、実施、評価といった看護過程の各段階について、その基本的な考え方と実際を学ぶ。
5. 看護記録の目的と留意点、その構成について学ぶ。

### 授業概要

1	大切な人の健康について考える	12	関連図
2	発表	13	演習 関連図
3	発表 看護過程の構成要素	14	演習 フォーカスアセスメント
4	看護過程とは 基盤となる考え方	15	演習 フォーカスアセスメント
5	基盤となる考え方 演習	16	演習 看護計画
6	アセスメントの枠組み	17	演習 看護計画
7	演習	18	実施 倫理原則
8	演習	19	評価
9	演習 情報収集	20	看護記録
10	演習 情報の整理	21	事例展開
11	演習 スクリーニングアセスメント	22	まとめ

※授業概要は、進度によって変更することがあります。

### 授業の進め方

講義、演習を織り交ぜながら進める。

### 教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [2] 基礎看護技術 I (医学書院)  
 ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 (照林社)  
 看護診断ハンドブック第 11 版 著: リンダ J. カルペニート=モイエ (医学書院)

### 参考図書

### 評価方法

終講時 事例展開の内容も含む客観式テスト (100 点)  
 試験時間は時間数に含む。